



「戦争法案絶対反対」と抗議のコールをする学生たち=21日、国会正門前

# 「絶対廃案」

## シールズが国会前抗議

「戦争反対」「絶対廃案」。蒸し暑さが残るなか、国会正門前から響く怒りのコールや、学生、学者らのスピーチ。21日夜、学生らでつくるSEALDs（シールズ＝自由と民主主義のための学生緊急行動）が呼びかけた戦争法案の廃案を求める抗議行動には、5000人（主催者発表）が参加しました。

SEALDsの奥田愛基（おくだあいき）は、

「このまま日本が戦争できるようになるなんてイヤです。必ず廃案にしたい」

埼玉県所沢市からきた斉藤（さいとう）正（ただ）さん（69）は夫婦で参加。「何もせずにはいられないほど危機感をもって。廃案まであきらめない」と話しました。

日本共産党の小池晃副委員長（こいけあきら）と民主党の議員があいさつしました。

さんは、23日に実施する全国若者いっせい行動の成功を呼びかけました。そのうえで「国会で防衛省の内部文書が明らかにされた。自分たちを『軍』といっている。やっぱり戦争法案ではないか」と批判しました。

防衛省が内部文書を作成していた問題について「政府は人の命を軽く見ている」と話すのは同杉並区に住む安田恵さん（あんだめぐみ）（56）。「本来は与党の議員だって怒るべき問題じゃないですか。」